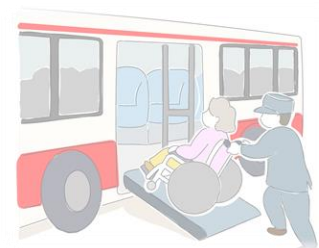


令和8年度第1回(22回) 瑞穂町地域公共交通会議



令和8年6月24日(水)
場所:瑞穂町役場 2階会議室2-1, 2-2

【はじめに】

これまでの流れ・本日の報告事項、論点-----	3
前回会議以降の動向-----	4

【報告事項】

(1)瑞穂町コミュニティバス、及びデマンド交通実証実験運行状況の報告について---	10
(2)瑞穂町デマンド交通利用者アンケート調査結果の報告について-----	19

【協議事項】

(3)瑞穂町デマンド交通の今後の運行方針について-----	32
(4)自動運転移動サービス実装事業の効果検証について-----	34

令和
3年度

令和3年10月 コミュニティバス実証実験運行開始

令和
6年度

【コミュニティバス】
運行計画の見直し、本格運行
の開始、実証実験の総括

【デマンド交通】
実証実験運行の開始

【地域公共交通計画】
課題の整理、計画目標の設定

令和
7年度

令和7年6月2日 令和7年度第1回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、デマンド交通利用者アンケート調査結果
【協議事項】デマンド交通実証実験の評価

令和7年8月22日 令和7年度第2回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、コミバスアンケート結果、路線バスOD調査結果
【協議事項】公共交通体系、地域公共交通計画の施策・事業、自動運転移動サービスの実装運行

令和7年12月9日 令和7年度第3回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】自動運転バス実装に伴うコミュニティバス運行計画の変更、
デマンド交通事業計画の変更、地域公共交通計画の素案

令和8年2月18日 令和7年度第4回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】デマンド交通事業計画の変更、地域公共交通計画案

令和
8年度

令和8年6月24日 令和8年度第1回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、デマンド交通利用者アンケート調査結果
【協議事項】デマンド交通の今後の運行方針、自動運転移動サービス実装事業の効果検証

本日

前回会議以降の動向

前回会議以降の動向① コミュニティバス

- 令和8年3月から、**石畑・殿ヶ谷コースの再編**を実施。石畑・殿ヶ谷コース、ふれあいセンターコース、箱根ヶ崎駅東口循環コースの3つに見直し、**全5コースでの運行を開始**
- 自動運転バスは令和8年2月に実証実験運行を実施し、トラブルは無かったが、他地域での自動運転バスの事故発生を受け、3月中は手動運転にて対応。その後、自動運転システムのアップデート、ドライバートレーニング等、再発防止策の実施により安全対策の強化を図り、**4/16から自動運転レベル2での運行を開始した。**
- 自動運転での運行日は、町HPで案内を実施



瑞穂町 すみたいまち つながるまち あたらしいまち

くらし・手続き 健康・福祉 子育て・教育 観光・イベント 環境・まちづくり

ホーム > 環境・まちづくり > 乗り物・交通 > 自動運転バス > 自動運転バスの運行日

自動運転バスの運行日

■ 更新日 令和8年5月13日 ■ ページID 11459 ■ 印刷

令和8年度の自動運転バス運行日

※運行日が変更となる場合は、こちらでお知らせします。
 ※7月以降の運行日については改めてお知らせします。

令和8年5月の運行予定日
 ● 5月1日～15日

令和8年6月の運行予定日
 ● 6月1日～20日

◀ **自動運転での運行日**

URL

<https://www.town.mizuho.tokyo.jp/kankyo/004/014/p011459.html>

二次元
コード



- 「RYDE PASS」を活用したデジタル定期券・回数券を導入(アプリで購入・利用可)

購入方法

- ① スマートフォンで「RYDE PASS」アプリをダウンロードする



▲上記よりダウンロードできます

- ② アプリのダウンロード後、会員登録をする
- ③ アプリ内で「定期券」、「回数券」のタブから「瑞穂町コミュニティバス」を選択して購入する

利用方法

アプリ内の「マイチケット」から、使用するチケット(「定期券」、「回数券」)を選択し、画面を乗務員にはっきりとわかるように提示する



瑞穂町コミュニティバス全線の 定期券・回数券がスマホで購入・利用 できるようになりました!



6 定期券は 種類販売	4 回数券は 種類販売
・通勤大人 ・特殊通勤大人 ・通学大人 ・特殊通学大人 ・通学小児 ・特殊通学小児	・大人 ・小児 ・特殊大人 ・特殊小児

※ 特殊・・・障がい者の方向けの割引定期券です

定期券


※「瑞穂町コミュニティバス全線」の
スマホ定期券画面・回数券画面です。

回数券


「スマホ定期券・回数券」が
24時間、自宅でも簡単に購入頂けます!

「RYDE PASS」はスマホ定期券・回数券の購入・ご利用ができるスマートフォンアプリです。
「RYDE PASS」は右下の二次元コードからダウンロード頂けます!



お問い合わせ先 瑞穂町 交通政策モデル推進課 TEL: 042-557-7579 (8:30-17:00)



スマホで簡単! デジタルチケット
RYDE PASS

App StoreはApple Inc.のサービスマークです。Android, Google PlayはGoogle Inc.の商標です。
iOS 商標は、米国Ciscoのライセンスに基づき使用されています。

🔍 ライドバス




IOS Android

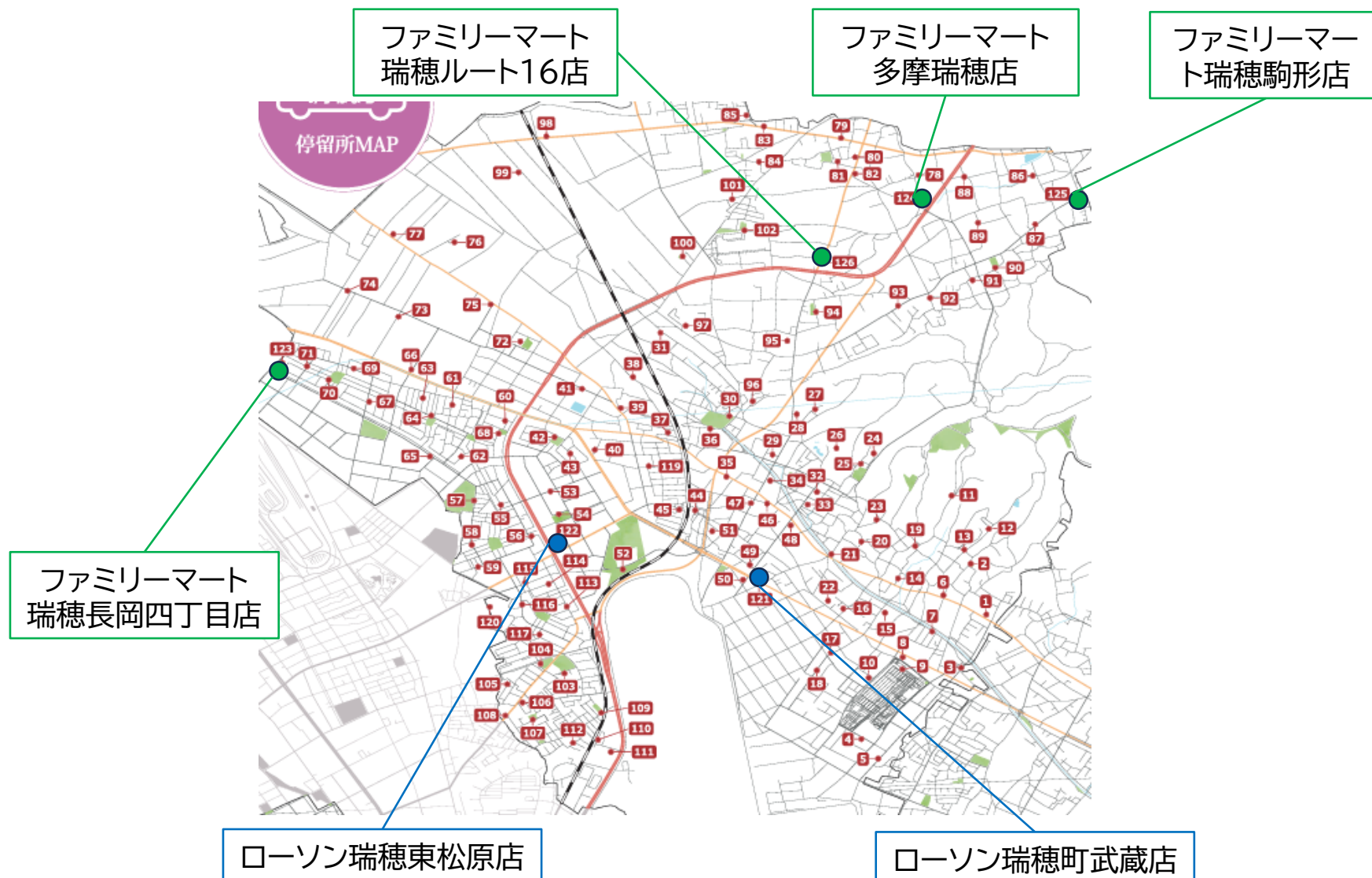
前回会議以降の動向② デマンド交通

- キャンペーン第3弾として、「満65歳以上で運転免許証を返納した方」「未就学児」を対象に追加

地域	町内全域
対象者	●満70歳以上の方 ●障害者手帳所持者 ●妊産婦 ●<u>満65歳以上で運転免許証を返納した方</u> ●<u>未就学児(会員登録は未就学児の保護者)</u> ※町内在住者に限る、事前登録の必要あり ※未就学児は保護者との同乗で利用 ※令和8年4月よりキャンペーンとして赤字の方を対象に追加
運行日	月・火・水・金・土の週5日(木曜日・日曜日・祝日・年末年始は運休) ※令和7年7月からキャンペーン実施により、東西の地域別の利用日を休止
運行時間	午前9時～午後5時(8時間)
乗降場所	計126箇所(町内の公共施設、医療機関、商業施設、金融機関等の他、各地区内にも設置)
車両	ワンボックスカー1台
運賃	400円(起点・終点のいずれかが公立福生病院の場合は600円)
決済手段	現金、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済 ※令和8年1月よりキャンペーンとして導入 クレジットカード      電子マネー      QRコード    
運賃收受	乗車時に運転手に支払い
割引	【相乗り割引】登録者を含めた2人以上で同乗する場合、運賃から1人当たり100円を割引 【障がい者割引】障害者手帳を所持する場合、提示すると200円割引
利用方法	利用日の2週間前から30分前までに予約が必要(電話、インターネット)

前回会議以降の動向② デマンド交通

- 町内のコンビニ6店舗を停留所に追加し、126箇所での乗降が可能に



前回会議以降の動向③ 瑞穂町地域公共交通計画

- 令和8年3月に「瑞穂町地域公共交通計画」を策定

瑞穂町 地域公共交通計画

2026-2035



2026年（令和8年）3月
瑞穂町

瑞穂町地域公共交通計画 概要版

第1章 計画の概要

■計画の背景・目的

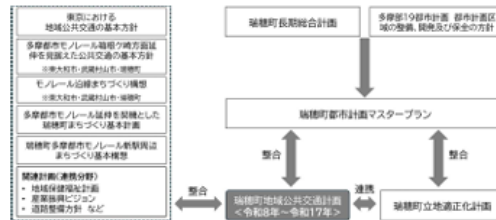
瑞穂町の公共交通ネットワークは、JR箱根ヶ崎駅を中心として、JR八高線や路線バスにより形成されていますが、民間路線だけで市街地全域をカバーするには至っておらず、利便性に課題があります。

また利用者数の減少、運転士不足の深刻化など公共交通を取り巻く環境が厳しさを増すなか、令和7年3月に多摩都市モノレールの箱根ヶ崎方面延伸が都市計画決定されています。2030年代半ばの延伸部分開業が目標され、町内には2つの新駅が設置される予定です。

本計画は、公共交通の利便性や持続可能性の向上、将来都市構造を見据えた立地適正化計画との連携、モノレール延伸を契機としたまちづくりとの連携を目指すものです。

■計画の位置づけ

本計画は「地域公共交通の活性化及び再生に関する法律」第5条に基づく法定計画で、町の上位・関連計画のほか、東京都の「東京における地域公共交通の基本方針」等と整合・連携を図ります。



■計画区域

対象区域は、瑞穂町全域とします。

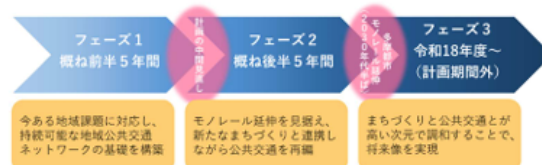
■計画の対象

町内の既存の公共交通手段である鉄道、路線バス、コミュニティバス、民間送迎バス等、デマンド交通、タクシーのほか、乗り入れ予定のモノレール、導入検討を行うシェアモビリティを対象とします。

■計画期間

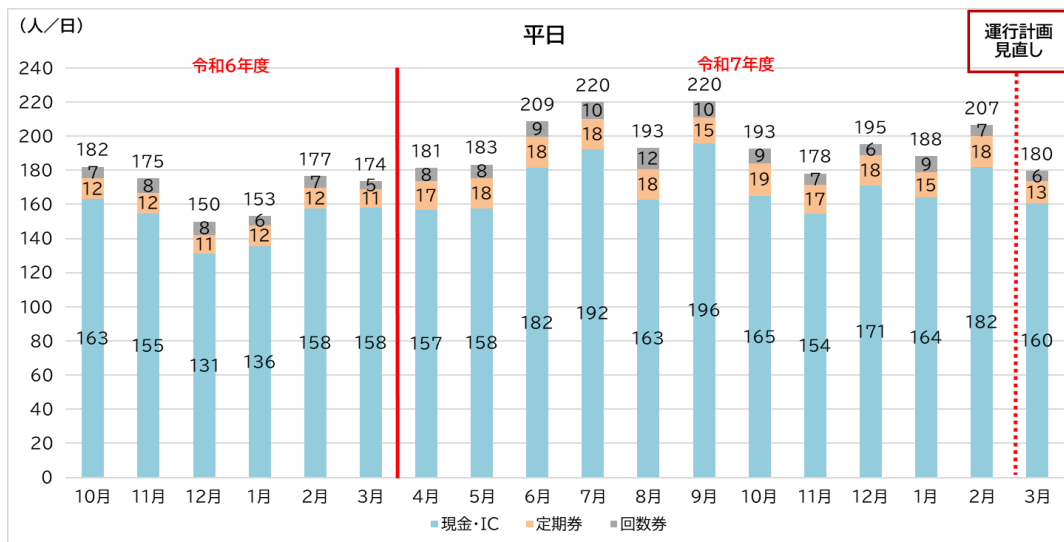
令和8（2026）年度から令和17（2035）年度までの10年間を計画期間とします。取組については、下図のとおりフェーズ1からフェーズ3の3段階に分けて進めます。

※フェーズは5年単位で一気に切り替わるのではなく、まちづくりの進捗等を踏まえながら、徐々に移行していくものです

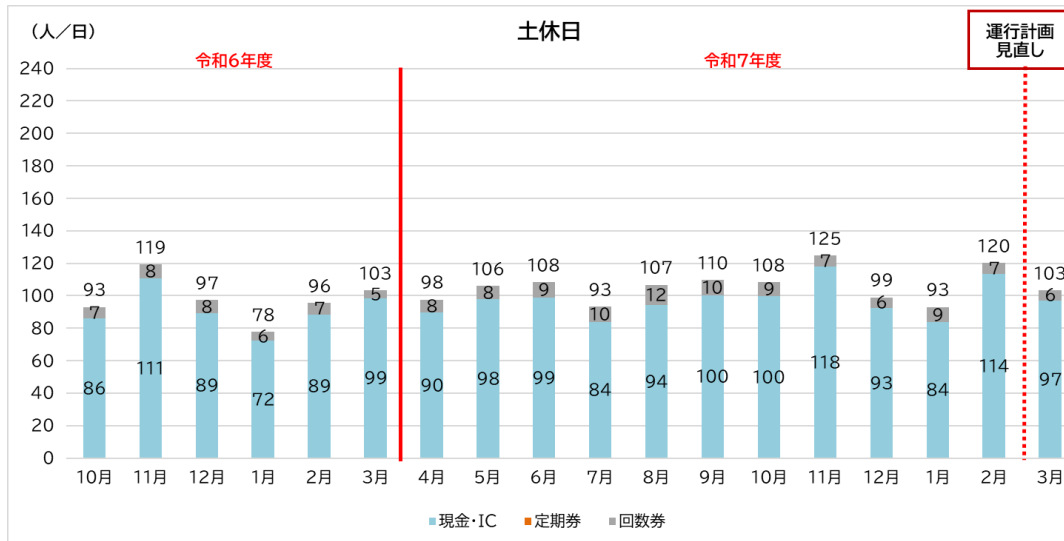


(1) 瑞穂町コミュニティバス、及びデマンド交通実証実験運行状況の報告について

- 令和7年度については年明け1月以降、毎月平日・土休日とも前年同月と同等か、上回っている
- 令和8年3月の石畑・殿ヶ谷コースの再編については、バス停の廃止等を伴うものではないことから、個別の路線単位の増減はあっても、全体での減少にはつながっていないと考えられる



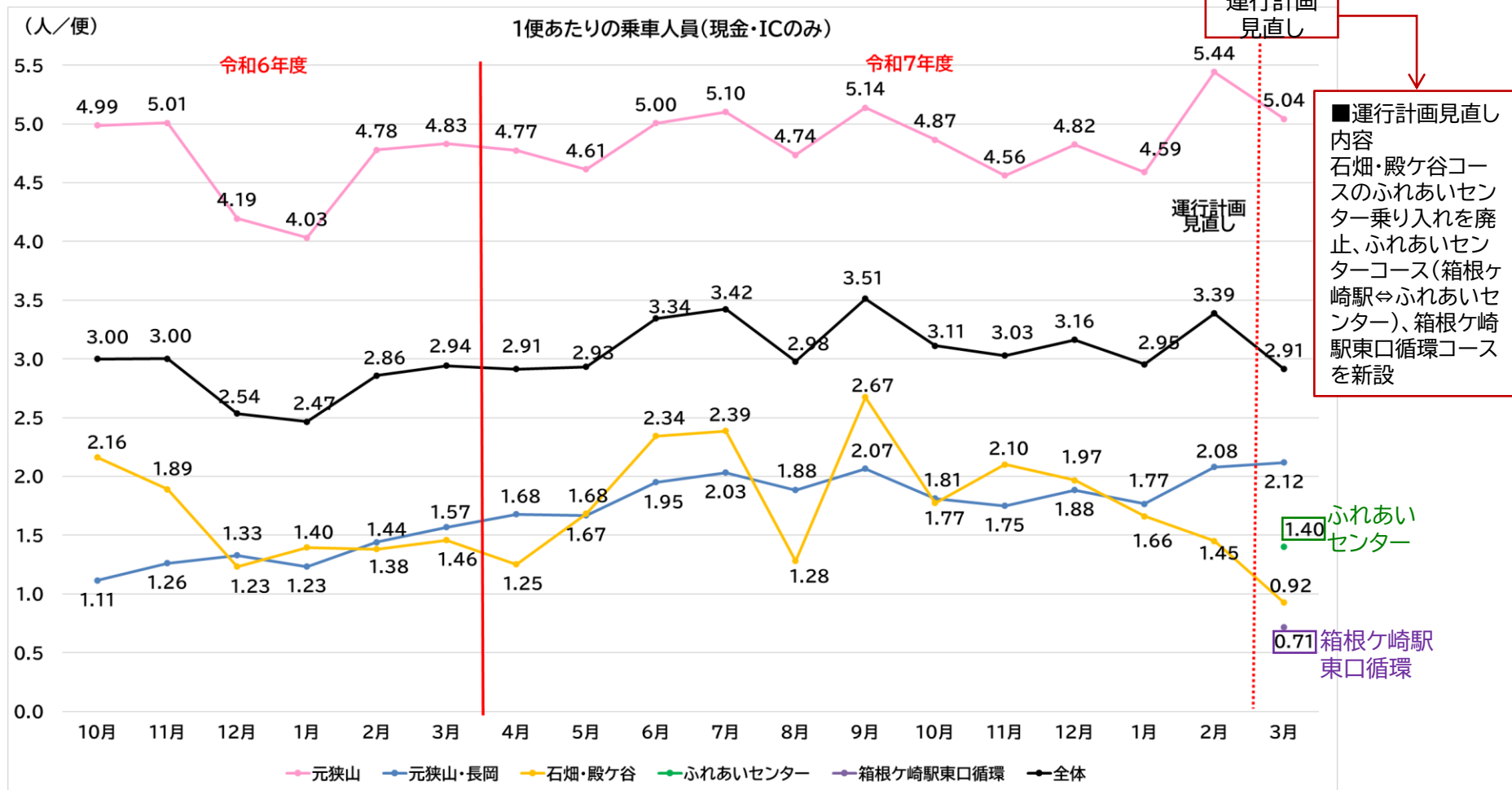
■運行計画見直し内容
石畑・殿ヶ谷コースのふれあいセンター乗り入れを廃止、ふれあいセンターコース(箱根ヶ崎駅⇄ふれあいセンター)、箱根ヶ崎駅東口循環コースを新設



定期券: 平日に1日1回利用するものとして計算
回数券: 販売した券の枚数を、その月の日数で除した値を平日・休日それぞれの1日あたりの利用者数として計算

- 運行計画見直し後の令和8年3月は、元狭山コース、元狭山・長岡コースは前年同月以上の水準
- 石畑・殿ヶ谷コースは最も利用の多いふれあいセンターを通らなくなったことにより、1人/便を下回る水準に減少
- 新設のふれあいセンターコースは令和8年3月に1.40人/便、箱根ヶ崎駅東口循環は0.71人/便
- 合計便数が増加したことの影響もあり、令和8年3月は全体(黒)では前年同月を下回る

(平日:49便⇒50便、休日42便⇒44便に増加)



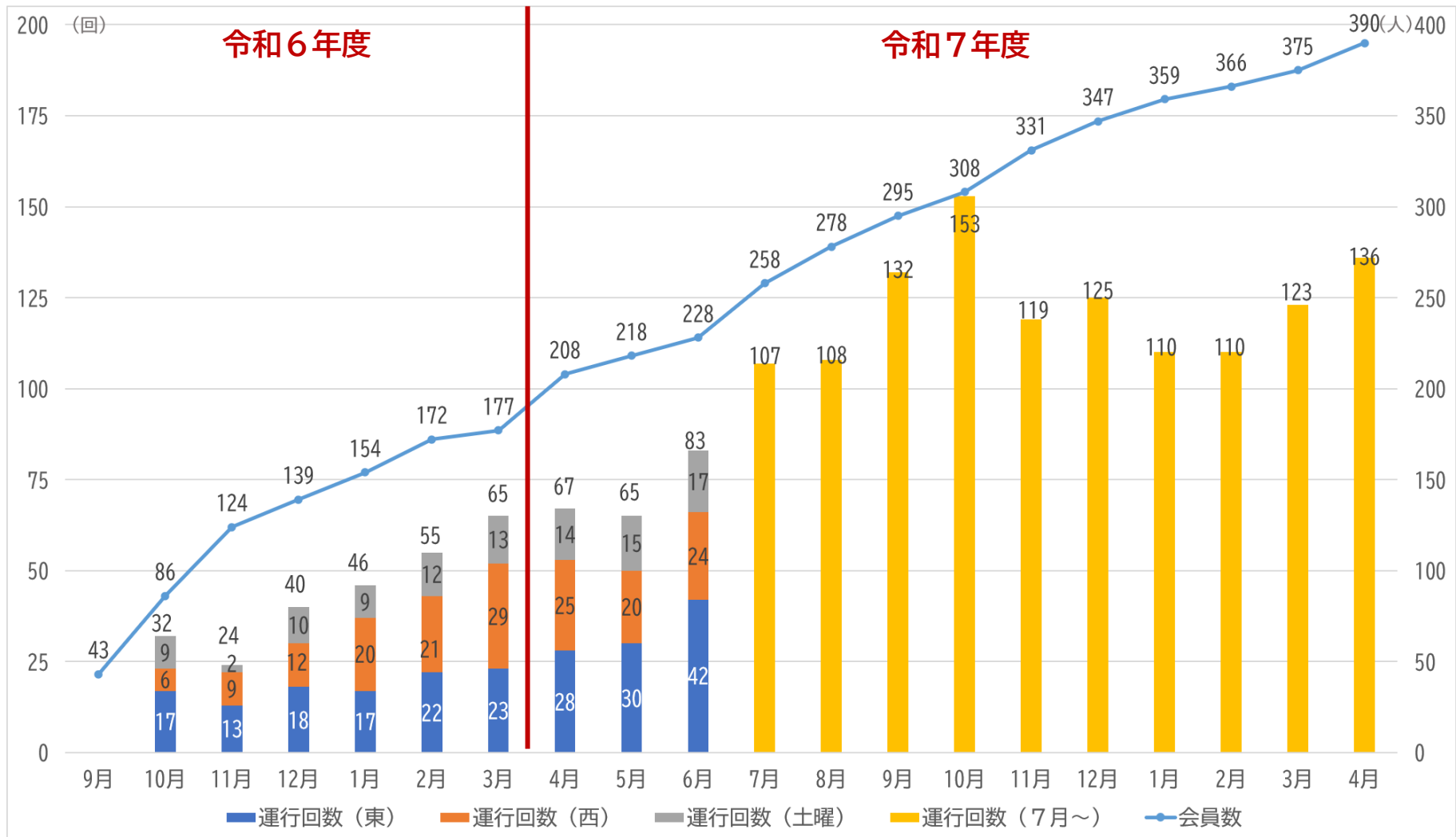
- 全体の概算収支率は令和6年度下期(10-3月)よりわずかに上昇し10.3%
- 運行経費が増加傾向にある中、走行距離の長い元狹山コースにおいては収支率が前年度下期を下回るが、元狹山・長岡コース、石畑・殿ヶ谷コースの収支率は改善している

■令和7年度収支率(概算)

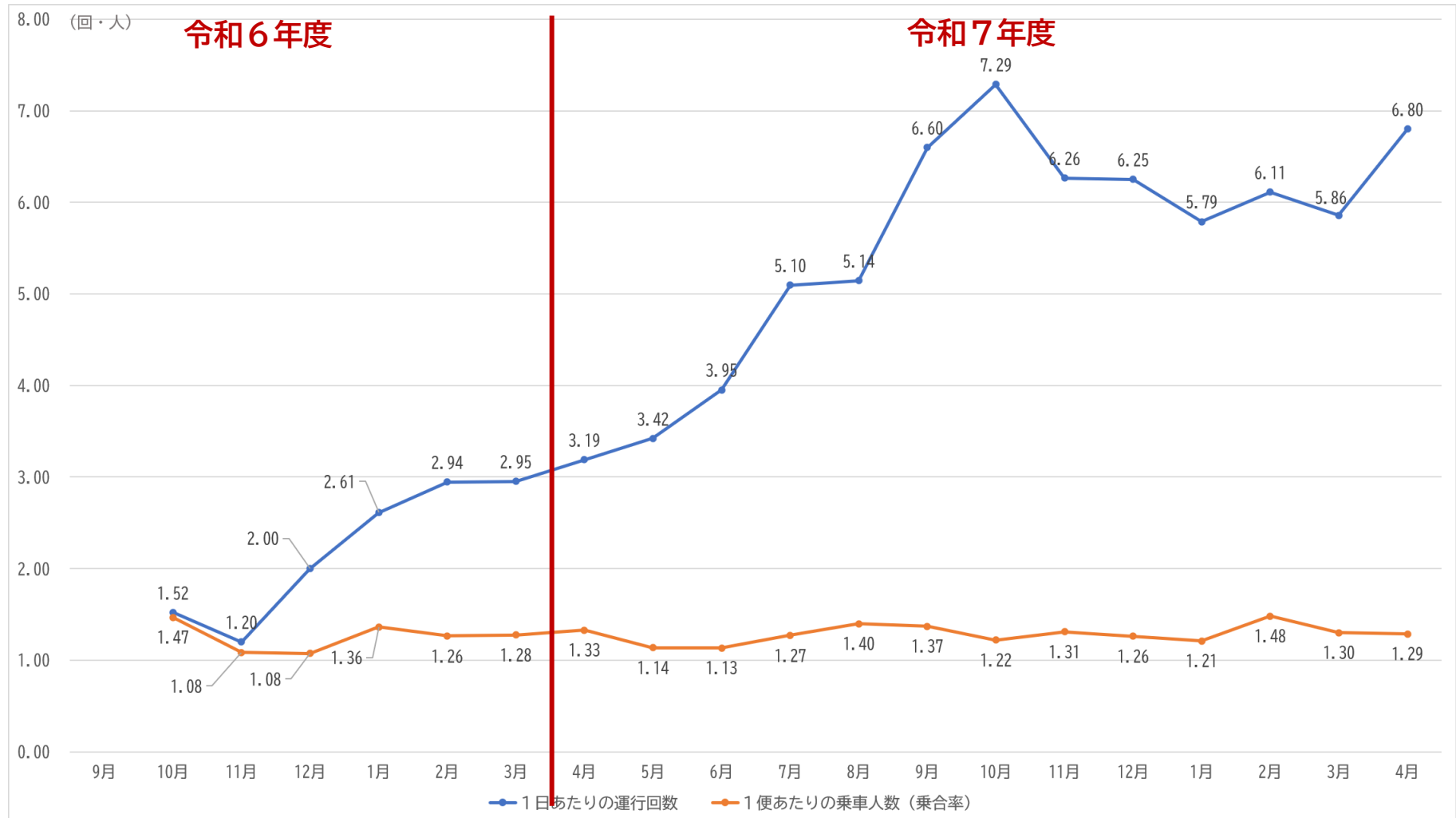
	元狹山	元狹山・長岡	石畑・殿ヶ谷	ふれあいセンター	箱根ヶ崎駅東口循環	全体
運行経費(百万円)	52.5	27.2	13.0	0.2	0.1	93.0
収入(百万円) ※定期券、回数券、広告収入を含む	6.4	2.1	1.1	0.0	0.0	9.6
町負担額(百万円)	46.1	25.1	11.9	0.2	0.1	83.4
収支率(%)	12.2	7.7	8.3	13.8	6.6	10.3
前年度収支率(%) (10-3月)	12.7	5.9	7.9	-	-	10.0
前年度からの増減(ポイント)	-0.5	+1.8	+0.4	-	-	+0.3

- 小数点第二位以下を四捨五入しているため、全体が各路線の合計と一致しない等計算が合わないことがある
- 運行経費は、全体の運行経費を走行距離の日に応じて各路線に配分して計算している

- ・ 会員数は少しずつ増加を続け、令和8年4月時点で390人となっている
- ・ 運行回数は令和7年11月以降、一時的に減少傾向にあったが、令和8年3月以降は再び増加傾向に転じている



- 1日あたりの運行回数は、令和7年11月以降は6回/日前後で推移していたが、令和8年4月は6.80回/日となっており、**概ね70分に1便程度**のペースで稼働している
- 1便あたりの乗車人数は1.2～1.5人の範囲で推移しており、引き続き**利用促進を行い、1度に多くの人が乗車するような状況を生み出していくことが重要**。



- 利用者数の多い乗降場は、**継続して「ジョイフル本田」が1位**となっていたが、令和8年2月は「さかえ町」、4月は「福生病院」が1位となっている
- 令和8年2月の「さかえ町」は大人数による利用が複数回あった影響で、一時的なものと考えられる。「福生病院」の利用増は一時的なものか、継続的なものか経過を継続的に見る必要
- 「ジョイフル本田」は往復で同等の利用があるが、「福生病院」は行きの利用が圧倒的に多い。前者は荷物が増える帰りに利用する動機があるが、後者は時間が読めず予約をしづらいことで差が生じると考えられる

利用者数の多い停留所

	7月		8月		9月		10月		11月		12月	
1位	ジョイフル本田	36回	ジョイフル本田	29回	ジョイフル本田	35回	ジョイフル本田	39回	ジョイフル本田	34回	ジョイフル本田	45回
2位	山岸歯科医院 瑞穂町役場 箱根ヶ崎駅西口	18回	松山公園	23回	瑞穂町役場	25回	松山公園	26回	松山公園	25回	福生病院 松山公園	24回
3位	-	-	箱根ヶ崎駅西口	21回	松山公園	20回	瑞穂町役場	23回	福生病院	20回	-	-
4位	-	-	みずほ病院 元狭山コミュニティセンター	14回	箱根ヶ崎駅西口	18回	福生病院	17回	みずほ病院	11回	瑞穂町役場 箱根ヶ崎駅西口	11回
5位	長岡コミュニティセンター	15回	-	-	福生病院	16回	長岡コミュニティセンター	14回	瑞穂町役場	10回	-	-

	1月		2月		3月		4月	
1位	ジョイフル本田	25回	さかえ町	35回	ジョイフル本田	26回	福生病院	38回
2位	松山公園	23回	ジョイフル本田	32回	瑞穂町役場	23回	ジョイフル本田	30回
3位	箱根ヶ崎駅西口	15回	松山公園	23回	JAIにしたま 元狭山支店	18回	松山公園	18回
4位	福生病院 みずほ病院 ドラッグセイムス 瑞穂二本木店	13回	JAIにしたま 元狭山支店	17回	松山公園	16回	かすが公園西緑道	16回
5位	-	-	けやき館	16回	長岡コミュニティセンター	15回	ドラッグセイムス 瑞穂二本木店	15回

※回数は乗車人数・降車人数の合計

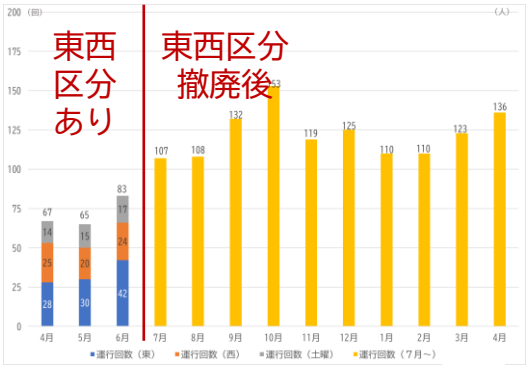
主要目的施設の往復での利用状況の差

目的施設	往復	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月
ジョイフル本田	到着(行きの利用)	18	13	16	19	15	23	11	16	13	15
	出発(帰りの利用)	18	16	19	20	19	22	14	16	13	15
福生病院	到着(行きの利用)	5	6	8	11	13	16	9	10	3	25
	出発(帰りの利用)	3	2	8	6	7	8	4	3	3	13

- 令和7年度の収支率は令和6年度(10月～3月)の1.8%から4.6%に上昇し、運行継続に向けた目安の1つである**コミュニティバスの運行終了2コースの2.1%を大きく上回る水準**になっている
- コミュニティバスに比べると行政負担額は大きくないが、1度に利用する人数が多くないこともあり、収支率は半分以下となっている

	瑞穂町デマンド交通 (令和7年度年間)	瑞穂町デマンド交通 (令和6年度10～3月)	瑞穂町コミュニティバス 武蔵野コース、箱根ヶ 崎・長岡コース (令和5年度年間)	瑞穂町コミュニティバス (令和7年度年間)
運行経費	11,825,656円 (車両リース代を除く)	5,686,120円 (車両リース代を除く)	15,037,331円	93,006,629円
収入	541,800円	104,100円	312,407円 (広告収入・燃料補助金 を除く)	9,573,553円
行政負担額	11,283,856円	5,582,020円	14,724,924円	83,433,075円
収支率	4.6%	1.8%	2.1%	10.3%

- 第1弾:東西区分の見直し(令和7年7月1日～)
(内容)
令和7年6月までは、町内の東部にお住まいの方は火・金・土、西部にお住まいの方は月・水・土に利用ができたが、東西の分けをやめ、全登録者が月・火・水・金・土に利用できるようにした
(効果等)
見直し後の7月以降、利用回数が大きく増加。また7月～4月の運行のうち20.5%、計448回が東西区分の見直しによって可能になったものであり、利用促進に大きな効果を上げたと考えられる
- 第2弾:キャッシュレス決済導入(令和8年1月5日～)
(内容)
現金だけでなく、クレジットカード、電子マネー、QRコード決済での支払いを可能とした
(効果等)
利用は令和8年1月3件、2月6件、3月4件と、全体の2～6%程度。全体の利用促進に繋がったとは言えないが、キャッシュレス決済に慣れた世代の登録が今後増えていくと予想され、利用促進のため継続が必要
- 第3弾:65歳以上免許返納者、未就学児への登録対象拡大(令和8年4月1日～)
(内容)
満65歳以上で運転免許証を返納した方、未就学児(保護者同伴)の利用を可能にした
(効果)
令和8年4月末時点では65歳以上免許返納者の登録及び未就学児の利用は無く、効果は限定的。免許を返納した65歳以上や、子育て世代への周知に取り組みたい



		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	合計
東部：月・水	回数	17	18	21	17	12	22	25	23	26	25	206
	全体に占める比率	12.5%	11.9%	11.6%	9.1%	7.7%	13.9%	18.8%	14.1%	16.3%	14.3%	9.4%
西部：火・金	回数	33	30	27	35	22	27	14	18	18	18	242
	全体に占める比率	24.3%	19.9%	14.9%	18.7%	14.1%	17.1%	10.5%	11.0%	11.3%	10.3%	11.1%
東西計	回数	50	48	48	52	34	49	39	41	44	43	448
	全体に占める比率	36.8%	31.8%	26.5%	27.8%	21.8%	31.0%	29.3%	25.2%	27.5%	24.6%	20.5%

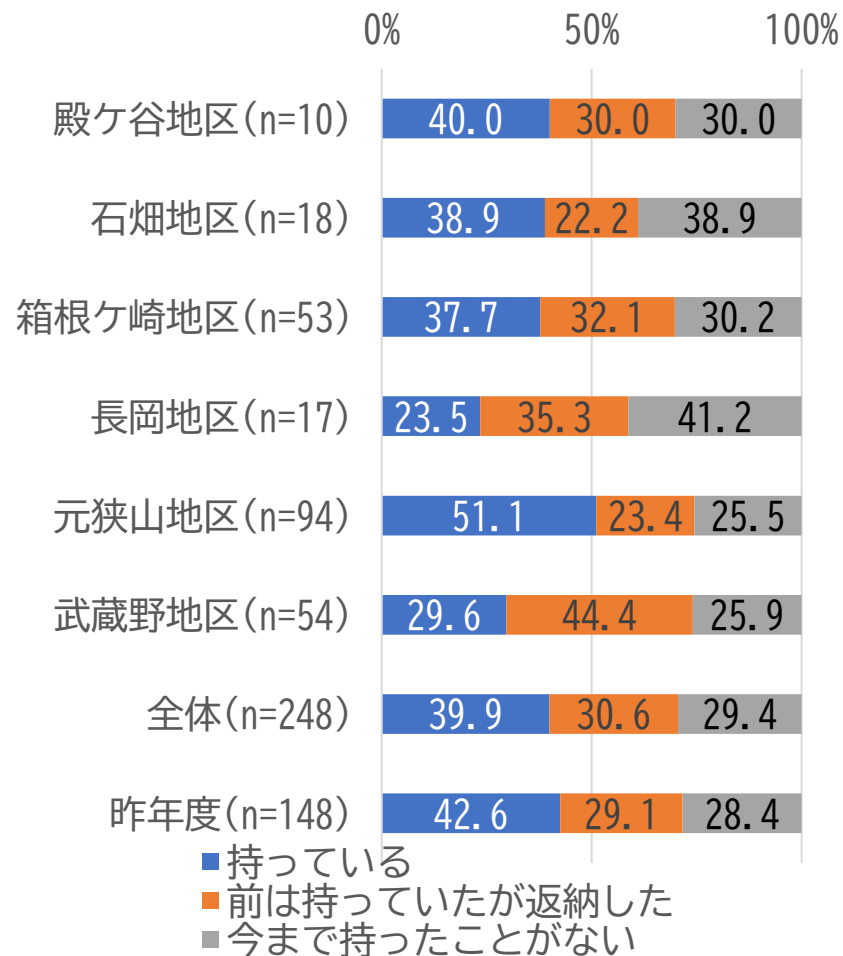
- 東西区分撤廃によって利用可能になった東部の月曜・水曜、西部の火曜・金曜の運行回数及び、全体の運行回数に占める比率
- 東西区分撤廃前後の運行回数

(2) 瑞穂町デマンド交通利用者アンケート 調査結果の報告について

目的	デマンド交通実証実験の評価や、改善事項を明らかにするため
調査項目	[共通] - 回答者属性 - 登録した理由 - 利用経験の有無 - デマンド交通以外に利用している交通手段 - 停留所の追加希望 [利用経験のない方] - 使わなかった理由 [利用経験のある方] - 利用の満足度 - 外出頻度 - 利用頻度 - 利用の効果 - 利用の際に困っていること
調査対象	瑞穂町デマンド交通の利用登録を行っている町民
調査方法	配布:郵送／回収:郵送・WEB併用
実施時期	令和8年5月14日(木)～6月4日(木)
回収率	65.2%(配布385件・回収251件)
留意事項	- 回答の比率は小数点第2位以下を四捨五入して表示しており、単一回答の項目においても、各項目の比率の合計が100.0%とならないことがある 「全体」のn数(回答数)は居住地等の回答が無いものも含んで集計しており、各地域のn数の総和と一致しないことがある

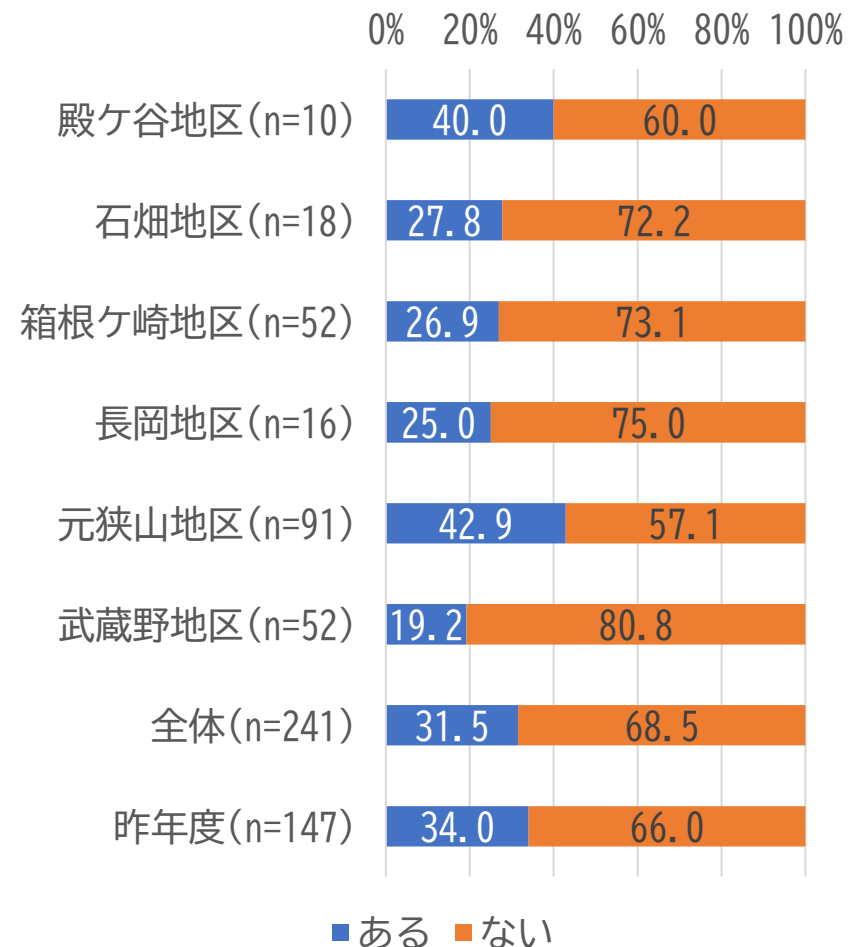
- 運転免許証を持っているのは39.9%で、運転することがあるのは31.5%
- 元狭山地区は運転免許証の保有、車の運転のいずれも全体より高くなっており、逆に長岡地区・武蔵野地区は低くなっている

Q1 車の運転免許証をお持ちですか。（1つだけ）



(無回答：3名)

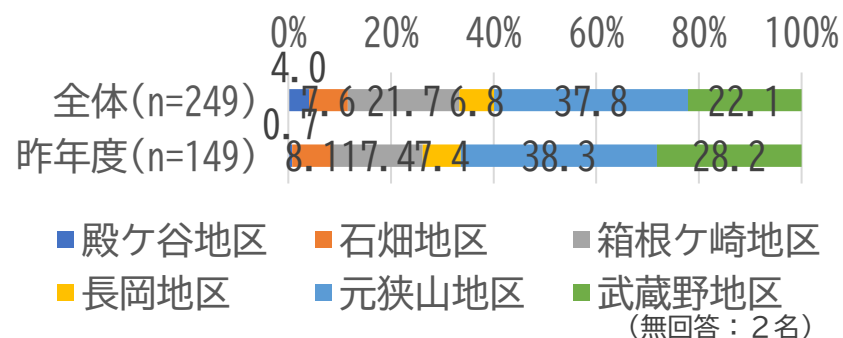
Q2 ご自身で車を運転することはありますか。（1つだけ）



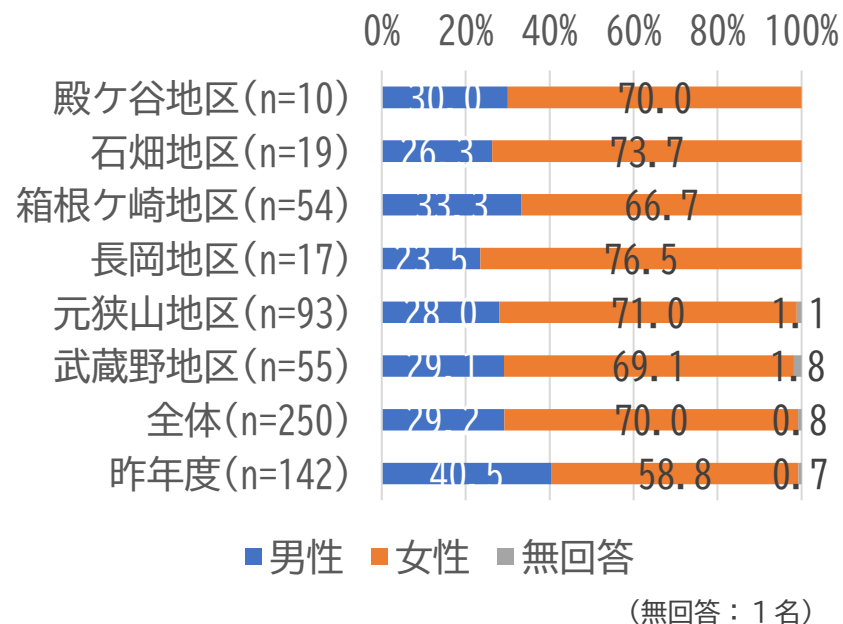
(無回答：10名)

- 居住地は元狹山地区が37.8%で最も高く、既存の公共交通の利便性が影響していると考えられる
- 年代ではほとんどの地域で75～79歳が最も高いが、武蔵野地区では34.5%で85歳以上が最も高く、路線バス沿線の居住者が多く、他地区よりデマンドに頼る必要性が低いものと考えられる
- 性別では女性が70.0%と昨年度よりも10ポイント以上高く、男性に比べ女性の会員が伸びている

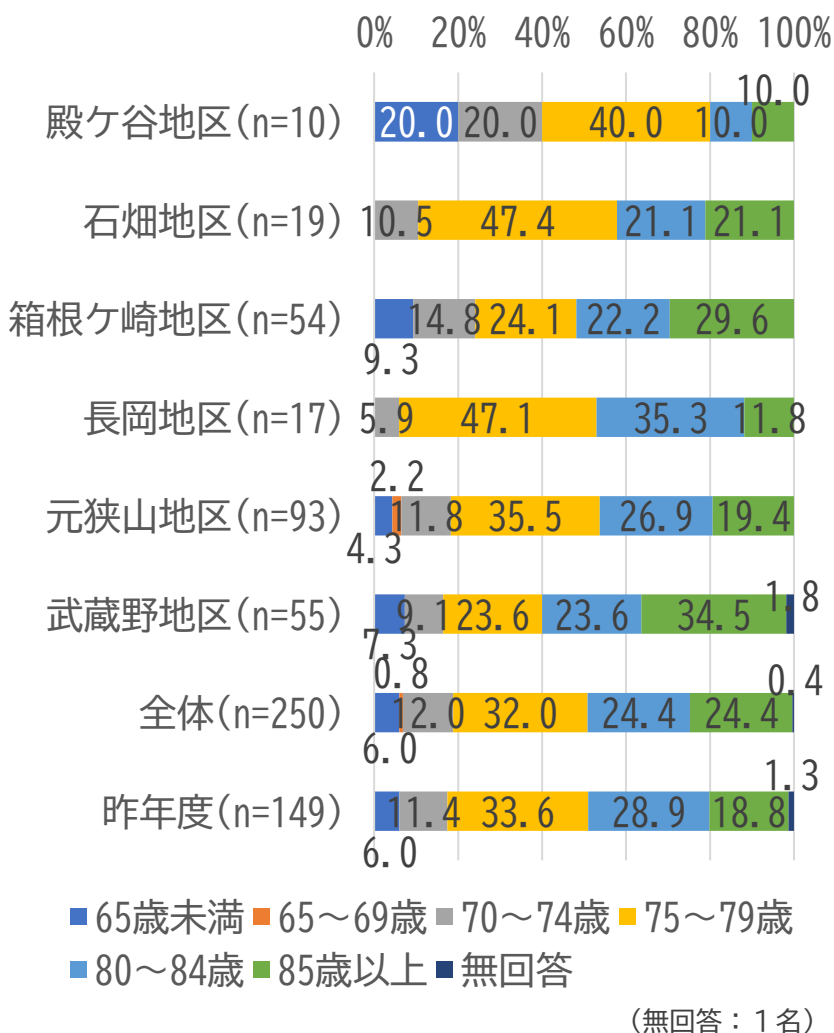
Q3 お住まいの地域を教えてください。（1つだけ）



Q5 性別を教えてください。（1つだけ）



Q4 ご年齢を教えてください。（1つだけ）



- 登録した理由は「他の公共交通手段が不便」が50.2%で最も高い。また元狭山地区や石畑地区では「他の公共交通手段が不便」が60%を超える水準で最も高いが、殿ヶ谷地区や長岡地区では「将来への備えとして」が60%前後で最も高い
- 利用経験は昨年度とくらべて「一度も使ったことがない」が20ポイント近く低下し、代わりに「今後も使っていきたい」が増加し、キャンペーン等による利用促進や、未登録者への周知の効果が出ていると考えられる

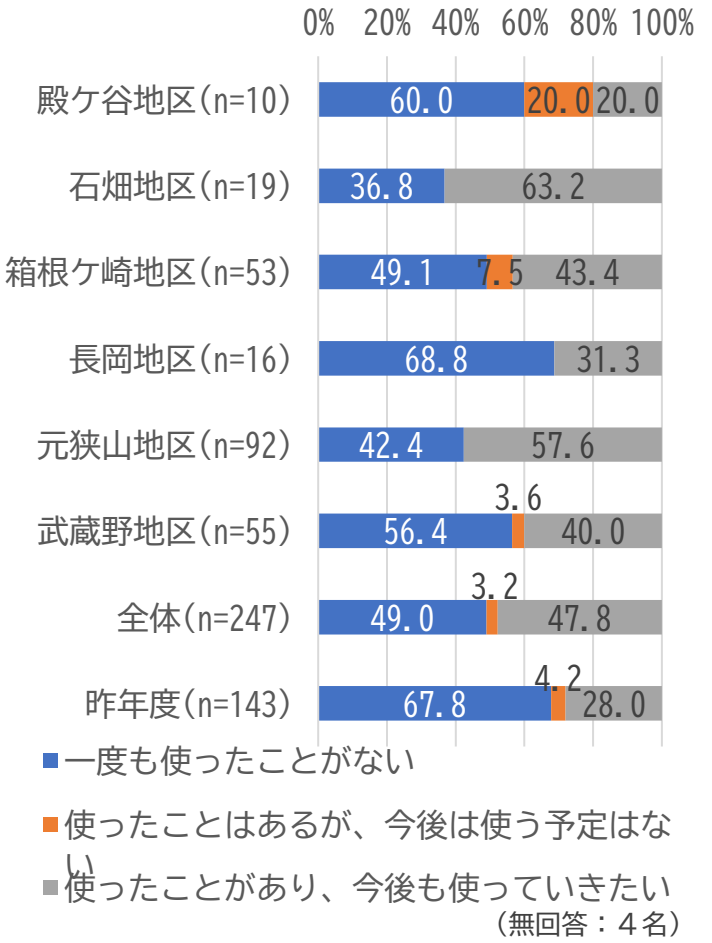
Q6 登録をされた理由を教えてください。
(あてはまるものすべて)

Q7 「チョイソコみずほまち」を使ったことがありますか。(1つだけ)

	バスなど 他の公共 交通手段 が不便だ から	自分で車 を運転す るのが難 しくなっ たから	お買い物 に行きや すくなる と思っ たから	病院に行 きやす くなると 思っ たから	まだ使う 予定はあ まりない が、将来 への備え として	その他
殿ヶ谷地区(n=10)	20.0	0.0	0.0	30.0	60.0	10.0
石畑地区(n=18)	66.7	33.3	33.3	27.8	33.3	11.1
箱根ヶ崎地区(n=53)	41.5	22.6	30.2	47.2	41.5	11.3
長岡地区(n=17)	52.9	11.8	35.3	41.2	58.8	0.0
元狭山地区(n=93)	65.6	26.9	23.7	39.8	43.0	6.5
武蔵野地区(n=52)	32.7	30.8	25.0	30.8	32.7	11.5
全体(n=245)	50.2	24.9	26.5	38.4	41.6	8.6
昨年度(n=142)	44.4	23.2	23.2	40.8	53.5	9.9

(無回答：6名)

- (その他理由)
- ミズカルでの習い事への足がない
 - 雨の日に自転車に乗れないから。またこちらにコミュニティバスが来ないから。
 - ケアマネジャーさんから教えて頂いた
 - 妊娠中の移動手段として 等



- 「まだ使う必要を感じていないから」が昨年度に引き続き最も高くなっているが、56.4%➡43.8%と10ポイント以上低下している
- 「使いたい曜日に使えないから」は昨年度の40.4%からほぼ半減の20.7%となっており、東西の区分を休止するキャンペーンの効果が出ていると考えられる
- 「自分が行きたいところにいけないから」も昨年度より5ポイント以上低下しており、停留所の追加や、東西の区分の休止により、利用できる日と病院の休診日等との重なりが減ったことによると考えられる
- 「使い方がよくわからないから」「予約するのが手間だと感じるから」が長岡地区、武蔵野地区で高い。特に武蔵野地区は高齢の登録者が多く、スマートフォンを使わない会員の多さも影響していると考えられる

Q8 これまで一度も使わなかった理由を教えてください。（あてはまるものすべて）

	使い方がよくわからないから	まだ使う必要を感じていないから	予約するのが手間だと感じるから	停留所が自宅の近くになく、使いづらいから	停留所がどこにあるのかわからないから	自分が行きたいところに行けないから	他の人と乗り合うのに抵抗があるから	使いたい曜日に使えないから	使いたい時間帯に使えないから	運賃が高いから	運賃が現金でしか支払えないから	その他
殿ヶ谷地区(n=6)	0.0	50.0	0.0	16.7	0.0	0.0	16.7	0.0	0.0	0.0	-	16.7
石畑地区(n=7)	14.3	28.6	14.3	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	57.1	-	14.3
箱根ヶ崎地区(n=26)	15.4	46.2	19.2	23.1	3.8	19.2	3.8	11.5	19.2	11.5	-	11.5
長岡地区(n=11)	36.4	36.4	36.4	0.0	18.2	27.3	0.0	36.4	27.3	9.1	-	0.0
元狹山地区(n=39)	15.4	51.3	15.4	10.3	5.1	25.6	2.6	23.1	25.6	17.9	-	7.7
武蔵野地区(n=31)	29.0	35.5	35.5	9.7	9.7	25.8	3.2	25.8	25.8	29.0	-	6.5
全体(n=121)	19.8	43.8	22.3	12.4	7.4	22.3	3.3	20.7	22.3	19.8	-	9.1
昨年度(n=94)	16.0	56.4	27.7	12.8	-	28.7	4.3	40.4	24.5	19.1	8.5	10.6

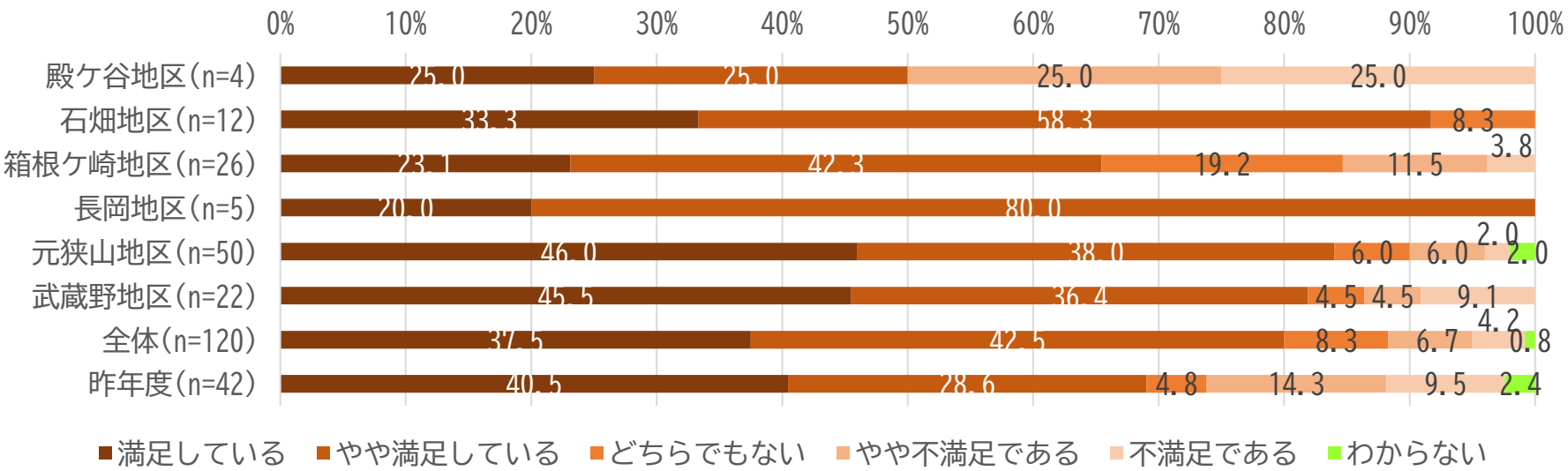
(Q7で「一度も使ったことがない」の方のみ対象、無回答：0名)

(その他理由)・急に使いたい時に使えない ・夫婦で利用するとかなり負担が大きい 等

※「停留所がどこにあるのかわからないから」は今年度から追加、「運賃が現金でしか支払えないから」はキャッシュレス決済導入に伴い今年度から削除

「満足している」の比率は昨年度よりも低下しているものの、5点満点での平均値は昨年度の3.78を上回る4.03となっている

Q9 「チョイソコみずほまち」のご利用について、満足度を教えてください。（1つだけ）



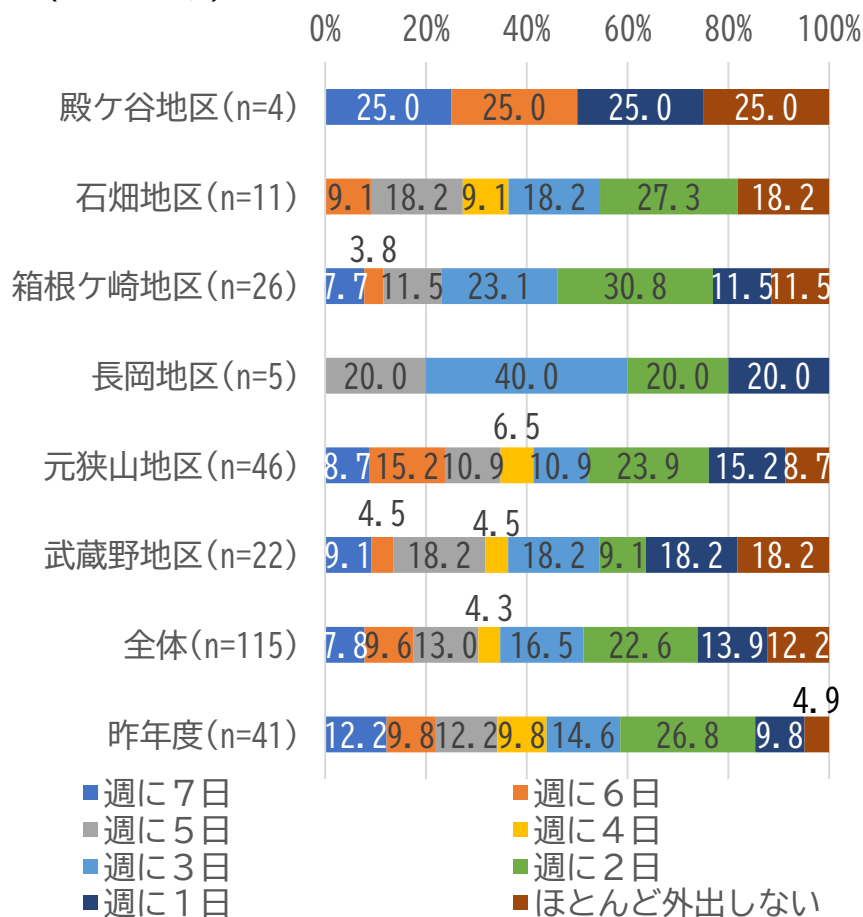
【平均点】 Q7で「使ったことはあるが、今後は使う予定はない」「使ったことがあり、今後も使っていきたい」の方のみ対象（無回答：6名）

件数 ※「わからない」を除く	満足している <5点>	やや満足している <4点>	どちらでもない <3点>	やや不満足である <2点>	不満足である <1点>	平均
殿ヶ谷地区 (n=4)	1	1	0	1	1	3.00
石畑地区 (n=12)	4	7	1	0	0	4.25
箱根ヶ崎地区 (n=26)	6	11	5	3	1	3.69
長岡地区 (n=5)	1	4	0	0	0	4.20
元狭山地区 (n=49)	23	19	3	3	1	4.22
武蔵野地区 (n=22)	10	8	1	1	2	4.05
全体 (n=119)	45	51	10	8	5	4.03
昨年度 (n=41)	17	12	2	6	4	3.78

※わからないを除いた5項目の5点満点での点数の平均値を集計（「わからない」は集計から除外）

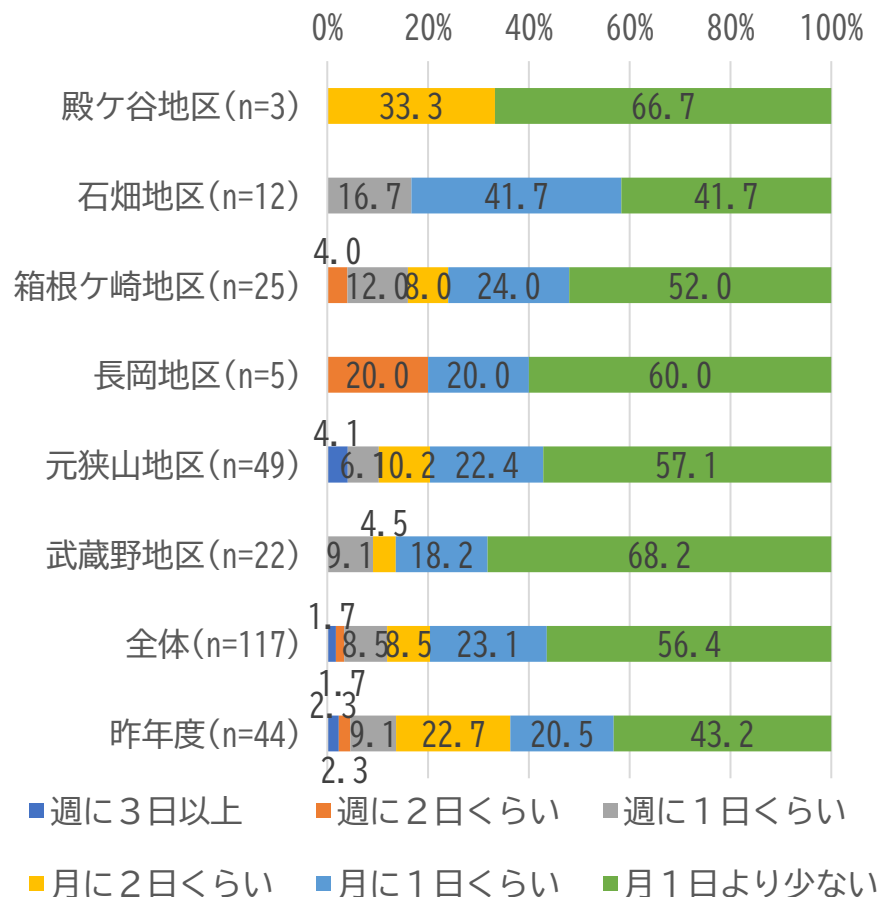
- 外出頻度では、昨年度と比べ「週に1日」「ほとんど外出しない」が増えており、登録者の増加によって普段の外出頻度が低い層にも広がったと考えられる
- また利用頻度も「月1日より少ない」が56.4%と半数以上を占め、利用促進の余地が大きい

Q10 現在、週に何日くらい外出していますか。
(1つだけ)



Q7で「使ったことはあるが、今後は使う予定はない」「使ったことがあり、今後も使っていきたい」の方のみ対象（無回答：11名）

Q11 現在、どのくらい「チョイソコみずほまち」を利用して外出していますか。（1つだけ）



Q7で「使ったことはあるが、今後は使う予定はない」「使ったことがあり、今後も使っていきたい」の方のみ対象（無回答：9名）

- 「病院に気軽に行けるようになった」が43.5%、「外出する際の行き先の選択肢が増えた」が25.0%となっているなど、外出のしやすさの向上に寄与していると考えられる
- 「家族等に車で送迎してもらうことが減った」が32.4%と2番目に高くなっており、周囲の負担軽減にも繋がっている

Q12 「チョイソコみずほまち」を利用するようになった効果で、あてはまるものを選んでください。（あてはまるものすべて）

	外出することが増えた	外出する際の行き先の選択肢が増えた	バスや鉄道など、その他の公共交通を利用する機会が増えた	商業施設に気軽に行けるようになった	病院に気軽に行けるようになった	公共施設に気軽に行けるようになった	家族等に車で送迎してもらうことが減った	運転免許証を返納できた	その他
殿ヶ谷地区(n=2)	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	50.0
石畑地区(n=12)	0.0	16.7	16.7	16.7	33.3	25.0	8.3	0.0	25.0
箱根ヶ崎地区(n=25)	12.0	16.0	12.0	16.0	44.0	8.0	20.0	4.0	40.0
長岡地区(n=4)	25.0	50.0	0.0	25.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0
元狭山地区(n=44)	11.4	31.8	15.9	20.5	50.0	20.5	50.0	4.5	6.8
武蔵野地区(n=20)	5.0	20.0	20.0	35.0	35.0	20.0	30.0	15.0	20.0
全体(n=108)	10.2	25.0	14.8	22.2	43.5	18.5	32.4	5.6	19.4
昨年度(n=44)	17.1								

(その他理由)・タクシーを利用しなくてすむ・妊娠中/乳幼児を連れて、4歳児の通院に行きやすくなった 等

Q7で「使ったことはあるが、今後は使う予定はない」「使ったことがあり、今後も使っていきたい」の方のみ対象（無回答：18名）
※昨年度の質問は単一回答で「「チョイソコみずほまち」を利用するようになったことで、外出することは増えましたか。」となっている

- 東西区分を休止するキャンペーンにも関わらず、「使いたい曜日に使えない」は昨年度より増加しており、木曜・日曜・祝日に使えないことを他の項目に比べ重視する人が多い
- 「使いたい時間帯に使えない」が昨年度の7.9%から41.4%に上がっており、利用が増加したことによって希望する時間に予約が取れないことが増えたことによると考えられる

Q13 ご利用の際にお困りのことはありますか。（あてはまるものすべて）

	使い方が わかりづ らい	予約の取 り方がむ ずかしい	停留所が 自宅の近 くにな く、使い づらい	停留所の 場所がわ かりづら い	自分が行 きたいと ころにい けない	使いたい 曜日に使 えない	使いたい 時間帯に 使えない	現金で支 払うのに 手間がか かる	その他
殿ヶ谷地区(n=4)	25.0	25.0	75.0	75.0	50.0	25.0	50.0	-	25.0
石畑地区(n=8)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	62.5	-	12.5
箱根ヶ崎地区(n=21)	9.5	9.5	14.3	14.3	33.3	52.4	28.6	-	38.1
長岡地区(n=4)	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	75.0	-	25.0
元狹山地区(n=40)	0.0	2.5	12.5	2.5	37.5	57.5	47.5	-	17.5
武蔵野地区(n=22)	0.0	9.1	9.1	9.1	27.3	72.7	27.3	-	13.6
全体(n=99)	3.0	6.1	13.1	9.1	33.3	57.6	41.4	-	21.2
昨年度(n=38)	2.6	5.3	18.4	-	2.6	52.6	7.9	84.2	23.7

(その他理由)

- ・予約したい時に利用出来なかった
- ・病院に行く場合9時までに着かないと遅い
- ・帰りの予約時間が難しい
- ・炎天下で待ったことがあり辛かった 等

Q7で「使ったことはあるが、今後は使う予定はない」「使ったことがあり、今後も使っていきたい」の方のみ対象（無回答：27名）
※「停留所の場所がわかりづらい」は今年度から追加、「現金でしか支払うのに手間がかかる」はキャッシュレス決済導入に伴い今年度から削除

- 全体では「徒歩」が56.8%で最も高く、「路線バス」(48.8%)、「自家用車(家族等の送迎)」(42.4%)と続いている
- 元狭山地区では「路線バス」が20.8%と全体より低くなっているが、「コミュニティバス」(54.7%)、「自家用車(自分で運転)」(28.3%)「自家用車(家族等の送迎)」(52.8%)は全体より高くなっている

Q14 「チョイソコみずほまち」以外で、普段ご利用される交通手段を教えてください。
(あてはまるものすべて)

	徒歩	自転車	鉄道	路線バス	コミュニティバス	自家用車 (自分で 運転)	自家用車 (家族等 の送迎)	タクシー	その他	他の交通 手段で外 出するこ とはほと んどない
殿ヶ谷地区(n=4)	75.0	25.0	25.0	100.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0
石畑地区(n=12)	75.0	25.0	50.0	66.7	25.0	8.3	58.3	50.0	0.0	16.7
箱根ヶ崎地区(n=26)	65.4	26.9	42.3	46.2	11.5	11.5	38.5	53.8	3.8	7.7
長岡地区(n=5)	60.0	20.0	40.0	80.0	40.0	0.0	0.0	40.0	0.0	0.0
元狭山地区(n=53)	45.3	20.8	24.5	20.8	54.7	28.3	52.8	30.2	5.7	5.7
武蔵野地区(n=24)	58.3	25.0	45.8	87.5	16.7	12.5	29.2	37.5	8.3	4.2
全体(n=125)	56.8	24.0	35.2	48.8	33.6	17.6	42.4	37.6	5.6	6.4

(その他理由)
・福祉タクシー ・シニアカー 等

Q7で「使ったことはあるが、今後は使う予定はない」「使ったことがあり、今後も使っていきたい」の方のみ対象（無回答：1名）

- ・ 停留所の追加要望では、福生駅、羽村駅等町外の鉄道駅や、ベイシア、カインズ、青梅総合病院等、町外の商業施設、病院などが多くなっている

Q15 「チョイソコみずほまち」の停留所として追加してほしい場所(行きたいところ)があれば教えてください。

場所	要望件数
福生駅	9
羽村駅	7
ベイシア	4
カインズ	3
青梅総合病院	3
けいあい歯科クリニック	3
図書館	3
丸野医院	2
高木病院	2
福生病院	2
入間市駅	2
箱根ヶ崎駅	2
西友福生店	2
社会福祉協議会	2
南京亭	2
マクドナルド箱根ヶ崎店	2
ドン・キホーテ多摩瑞穂店	2
目白病院	2

※既に停留所のある地点も表示

場所	要望件数
ミズカル	1
ドコモショップ瑞穂店	1
瑞穂農芸高校	1
村山医療センター	1
順心眼科クリニック	1
ワタナベ整形外科	1
小泉接骨院	1
瑞穂第一小学校	1
ドラッグストアセキ瑞穂店	1
小作駅	1
箱根ヶ崎耳鼻咽喉科	1
寄り合いハウスいこい	1
ジョイフル本田	1
福生警察署	1
福生郵便局	1
ニトリ瑞穂店	1
ふれっしゅはうす	1
武蔵野中央公園（むさしの公園？）	1
元狹山地区交番前	1
青梅線の駅	1
イオンモール	1
三井アウトレットパーク入間	1

- 運賃の見直しや木曜・日曜、祝日の運行に関するご意見が特に多くなっている
- キャッシュレス決済や東西区分など、キャンペーンで対応した事項に対する不満も散見し、周知が完全に行き届いていないとみられる

Q16 「チョイソコみずほまち」についてご意見があれば、ご自由にお書きください。

カテゴリ	件数	主な意見例
運賃の見直し（値下げ要望）	19	「片道400円は高い」「100円くらいに」「シルバーパスのような割引を」
運行日・曜日の拡大	19	「木曜日も運行してほしい」「日曜・祝日も運行を」「年末も運行を」
感謝・継続希望	15	「助かっています」「親切でした」「続けてほしい」「ありがたい」
利用時間の拡大	12	「19時まで」「夜間も使えるように」「朝8時から」
町外・運行エリアの拡大	11	「羽村駅まで」「青梅総合病院へ」「イオンモールへ」「町外の病院にも」
予約の改善	11	「帰りの時間が読めない」「待ち時間が長い」「予約が取りづらい」「申込時間がわからない」
停留所の増設・近接化	9	「停留所を増やして」「家の近くまで来てほしい」「歩くのが大変」
今後利用予定・期待	8	「免許返納後に利用予定」「これから利用したい」
設備・サービス向上	7	「荷物の乗り降りを手伝って」「オペレーター対応改善」
利用対象者の拡大	6	「誰でも乗れるように」「年齢制限撤廃」「障害者も利用しやすく」
コミュニティバスへの要望	5	「循環バスがほしい」「福祉バスもない」
車両台数の増加	4	「台数を増やして」「2台稼働を」「何号車まであるの？」
案内・周知の改善	4	「もっとアピールを」「認知度が低い」「停留所があることを知らなかった」
地区分け運行への不満	2	「東部西部に分けないで」「全町内毎日利用できるように」
電子決済対応	2	「PayPayが使えたら」「nanacoも」
その他	9	個別の要望・感想など
合計（延べ件数）	147	※1つの意見が複数カテゴリに該当する場合あり

(3)瑞穂町デマンド交通の 今後の運行方針について

令和6年度に本会議で定めた基準に沿って評価すると、利用者満足度は昨年度に引き続き平均3.5を上回り、収支率は昨年度下回っていたコミバス廃止2路線の水準を上回ったため、「**本格運行の検討**」となる

(参考)令和6年度に設定した運行評価基準の考え方

- ・ 利用者の満足度(運行計画)と利用実態の両面から実証運行を評価
- ・ 利用実態の評価は利用者の外出頻度の増減、収支率で行う

①満足度:

利用者アンケートで5段階評価を行い(満足が5点、不満足が1点)、**平均3.5点を上回るかどうか⇒4.03点**

※R5調査でコミバス利用者の満足度は平均3.34点

②外出頻度:

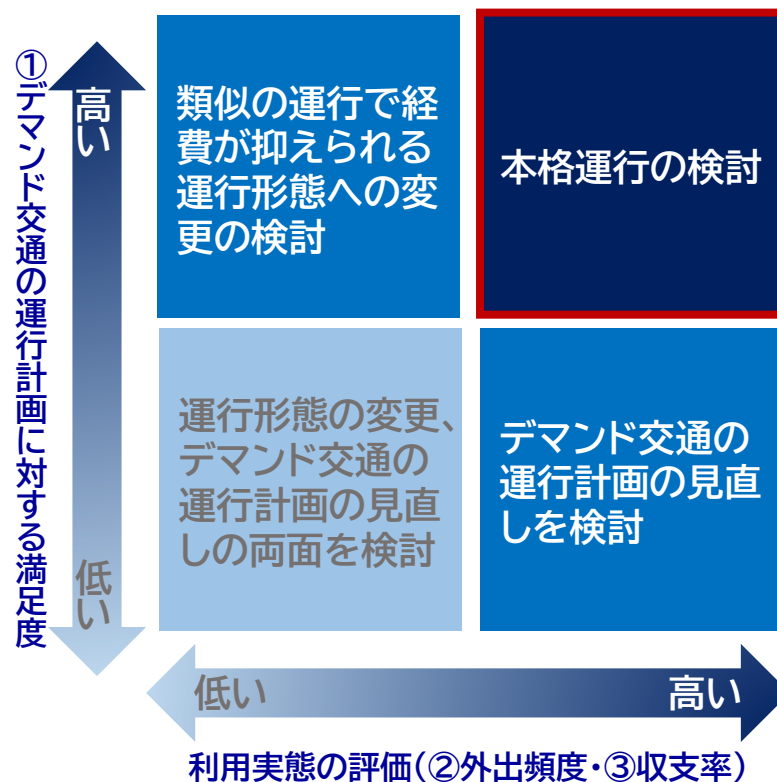
利用開始前より**外出頻度が上昇するか⇒**

アンケート回答者のうち昨年度は7人、今年度は11人が上昇を実感

③収支率:

廃止した箱根ヶ崎・長岡コース、武蔵野コースの**2路線を上回るか⇒4.6%**

※R5年度の2コース合計の概算収支率は2.1%



出典：令和6年第2回地域公共交通会議資料

上記を踏まえ、町としては実証実験期間が終了する**10月以降、本格運行に移行したく、本日ご承認をいただきたい**と考えています

なお、10月以降の運行は、実証実験運行時と同じ方法で実施し、各キャンペーンで実施していた施策は、これまでの利用実態や今後の利用拡大の可能性等の効果を踏まえ本採用とします。また、引き続き、利用者を増やしていくため、認知拡大、利用促進・利便性向上や他施策との連携等、地域住民の要望等を踏まえた運行計画の見直しを図っていきます。

(4) 自動運転移動サービス実装事業の 効果検証について

- 町では、「瑞穂町自動運転移動サービス実装事業」について、内閣府「新しい地方経済・生活環境創生交付金(第2世代交付金)」の交付を受けている
- 地域再生計画にて毎年度、外部有識者、住民代表、運行事業者、関係機関により、効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定するものとなっていることから、瑞穂町地域公共交通会議に諮りたい

第2世代交付金の概要

➤ 地方がそれぞれの特性に応じた発展を遂げることができるよう、日本経済成長の起爆剤としての大規模な地方創生策を講ずるため、地方公共団体の自主性と創意工夫に基づく、地域の多様な主体の参画を通じた地方創生に資する地域の独自の取組を、計画から実施まで強力に後押しする。

◆制度概要

- ① 地方公共団体の自主性と創意工夫に基づいた、地方創生に資する地域の独自の取組を支援
 - ※地方版総合戦略に基づき、目指す将来像及び課題の設定等、KPI設定の適切性に加え、自立性、地域の多様な主体の参画等の要素を有する事業を支援。
- ② ソフト+ハードや分野間連携の事業を一体的に支援するとともに、国による伴走支援を強化
 - ・ 申請の効率化を図る観点から、ハード・ソフトが一体となった事業も含め、一本の申請で受付。
- ③ 事業の検討・実施・検証の各段階において、地域の多様な主体が参画する仕組みの構築
 - ・ 産官学金労官の参画による事業の進捗状況・効果測定を実施し、効果検証及び評価結果・改善方策の公表を義務化する。

◆評価基準

目指す将来像及び課題の設定

KPI設定の適切性

自立性

地域の多様な主体の参画

	事業計画期間	交付上限額・補助率
ソフト事業	原則 3 か年度以内 (最長 5 か年度)	1 自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中枢中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
拠点整備事業	原則 3 か年度以内 (最長 5 か年度)	1 自治体当たり国費 都道府県：15億円/年度 中枢中核：15億円/年度 市区町村：10億円/年度 補助率：1/2
インフラ整備事業	原則 5 か年度以内 (最長 7 か年度)	1 自治体当たり事業計画期間中の総国費 都道府県：50億円 (単年度目安10億円) 中枢中核：20億円 (単年度目安4億円) 市区町村：10億円 (単年度目安2億円) 補助率：1/2等 (各省庁の交付要綱に従う)

(注1) 拠点整備事業及びインフラ整備事業における単年度の交付上限額は目安とする。

(注2) 拠点整備事業の1事業当たりの事業計画期間における交付上限額(国費)について、都道府県・中枢中核都市は15億円、市区町村は10億円を目安とする。

(注3) 新規事業の通常の申請上限件数は、自治体の規模を問わず、10件とする。一定の条件を満たす事業については、通常の申請上限件数の枠外として、2件の申請を可能とする。

(注4) インフラ整備事業は、ソフト事業又は拠点整備事業との組み合わせを要件とする。

- ・ 設定したKPI(重要業績評価指標)、令和7年度の実績は下表のとおり
- ・ 当該事業を評価するため、効果検証についてご協議いただきたいと思います

KPI及び令和7年度実績				達成	未達成
	事業 開始前	令和7年度 実績	令和7年度 増加分	令和7年度 目標(増加分)	効果の検証
①瑞穂町の人口 (自動運転バスの運行により、モノレール延伸を契機としたまちづくりに伴う人口流入を先取り)	31,966 人	31,912 人	-54人	-150人	公共交通の利用環境が改善されるなか、転入者数が増加し、大きな人口減少が生じなかった
②コミュニティバス乗車人数 (利便性向上、注目度向上による乗車人数の増加)	44,976 人	52,955 人	7,979 人	2,000 人	自動運転導入による注目度の向上や、運行計画見直しの効果もあり、利用が増加している
③自動車保有台数 (利用増による自家用車依存低減)	27,162 台	27,112 台	-50台	-109台	コミュニティバスの利用は増加しているものの、自動車の保有台数が大きく減少するほどの効果に繋がらなかった
④自動車による人身事故件数 (公共交通利用への転換による発生件数減)	71件	121件	50件	0件	自家用車保有台数の減少や移動手段の公共交通へのシフトが期待より進まず、効果に繋がらなかった。
⑤乗車後の自動運転サービスの印象のうち、安心・やや安心の割合 (実際に乗車した後の社会受容性向上)	49.0%	69.0%	20.0 ポイント	5.0 ポイント	技術的な改善やルートの見直し、また社会受容性向上を図るための周知などにより、安心と感じる人が目標を大きく上回る水準で増加した

令和
7年度

令和7年12月9日 令和7年度第3回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】自動運転バス実装に伴うコミュニティバス運行計画の変更、
デマンド交通事業計画の変更、地域公共交通計画の素案

令和8年2月 令和7年度第4回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績 【協議事項】デマンド交通事業計画の変更、地域公共交通計画案

令和8年5月 デマンド交通利用者アンケート実施

令和8年6月24日 令和8年度第1回地域公共交通会議
【報告事項】利用実績、デマンド交通利用者アンケート調査結果
【協議事項】デマンド交通の今後の運行、自動運転移動サービス実装事業の評価及び取組方針

本日

令和
8年度

令和8年 住民との意見交換会実施(年4回程度)

令和8年11月頃 令和8年度第2回地域公共交通会議

令和9年1月頃 コミュニティバス利用者アンケート実施

令和9年2月頃 令和8年度第3回地域公共交通会議